

きれい 甲斐

No.37 FEBRUARY 2007

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

環境パートナーシップやまなし

事務局 ● 〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1 山梨県循環型社会推進課内
TEL.055-223-1506 FAX.055-223-1507 ✉ junkan@pref.yamanashi.lg.jp
URL <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/junkan/60200266375.html>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

発行責任者 ● 広報専門部会長 神宮寺 聡

県民の日の環境広場に出展しました

第21回県民の日記念行事が、11月11日(土)、12日(日)に小瀬スポーツ公園で開催され、当会もその中にある環境広場に出展しました。

環境意識の啓蒙を目的としてクイズラリーを実施し、5問全部回答してくれた方に記念品を差し上げました。

また、昨年度に引き続き、ネットワークづくり専門部会を中心に「ごみ減量推進運動」として、手作りのプラカードを掲げながら、ごみの持ち帰りを呼びかけるパレードを行いました。

1日目は朝から雨が降っていたため人の出足が悪く、クイズラリーは人がまばらでした。残念ながら、パレードも中止となりました。しかし、2日目は晴天でクイズラリーは大盛況、パレードも予定どおり午前・午後の2回行われました。山梨学院短期大学の学生ボランティアの方にも参加していただき、ごみ持ち帰りをアピールしました。



なお、下記はクイズラリーに出題したクイズです。何問回答できますか？答えは4ページにあります。

初級コース

- I 地球温暖化の原因はどれでしょうか。
① 酸素 ② 水素 ③ 二酸化炭素
- II 森は私たちにとって大切な役割をしています。その役割とはなんのでしょうか。
① ごみをリサイクルする ② 二酸化炭素を吸収する ③ エネルギーをつくる
- III 商品を買う時に環境にやさしいものはどれでしょうか。
① 長持ちするものを買う ② かわいいものを買う ③ 安いものを買う
- IV 次のうち、1番きれいな川にすんでいる生物はどれでしょう。
① アメリカザリガニ ② タニシ ③ サワガニ
- V 山梨県では、奇数月の30日は、身近なごみ清掃や美化活動を行う〇〇〇〇キャンペーンの活動日です。
① ごみ減量 ② クリーン ③ リユース



一般コース

- I 地球温暖化に関する問題です。地球の平均気温は、この100年で0.6℃上がっていますが、山梨県の平均気温は、この100年で何度(℃)上がったでしょう？
① 0.6℃ ② 1℃ ③ 2℃
- II 私たちは毎日たくさんのごみを出しています。山梨県民一人当たり、どれくらいのごみを出しているでしょう？
① 500g ② 1,000g ③ 3,000g
- III 限りある資源である石油の代替エネルギーについてさまざまなものが研究されていますが、家庭で使った天ぷら油などを原料にして作られた軽油の代替燃料のことを何と言うでしょう。
① BDF ② BOD ③ PCB
- IV 次の電化製品のうち家電リサイクル法の対象でないものはどれでしょう。
① 洗濯機 ② テレビ ③ パソコン
- V スーパーやコンビニでもらうレジ袋、一人あたり年間約何枚を受け取っているでしょうか。
① 60枚 ② 260枚 ③ 460枚



「クール・エコチャレンジ2006」実施結果

事業の内容

本団体会員(団体会員の構成員を含む)及び一般県民各世帯、事業所において、8月の日を含む1検針期間、参加者自身が設定した昨年同時期に比した削減目標を達成するため、節電に取り組んでいただきました。

実施結果

今年の夏は、梅雨明けが、平年より10日ほど遅くなり7月30日頃となりました。また、梅雨明け後の猛暑が襲ったものの、8月の平均気温は、27.0℃(甲府気象台)と昨年8月(27.2℃)に比べ約0.2℃低くなり、無理なく節電にチャレンジできたのではないのでしょうか。

このような状況により、個人部門では188世帯(55%) (昨年129世帯:36%)で昨年より使用量が減り、うち169世帯(49%) (93世帯:26%)の方が削減目標を達成しました。

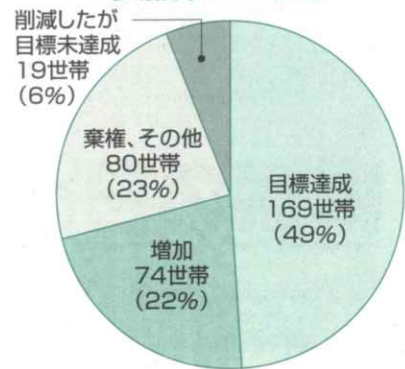
各参加世帯での取り組みとしては、エアコンの使用を控え、扇風機を活用したり、よしず・すだれの活用などの取り組みが多くみられました。また、テレビなどのコンセントを抜いて待機電力の削減に努めたり、部屋の明かりをこまめに消すなど、ちょっとした心がけの積み重ねが、着実な削減に結びついているようです。

こういった取り組みは、あまりがんばり過ぎると、一時的なもので終わったり、習慣にならないことも考えられますので、少し長い目でみて、楽しみながら継続していくことが大切です。

事業所部門では、「クール ビズ」(本会では、夏の爽快エコスタイル・キャンペーンを実施)により、軽装やエアコンの温度を常時28℃にするなどの取り組みが行われています。

この節電チャレンジは夏を対象に実施していますが、今年、環境省は、衣食住を通じて「家」の中からできる温暖化対策を呼びかけるため「うちエコ」というキャッチフレーズにより展開しております。暖房の設定温度を1℃下げると、夏の4倍の二酸化炭素削減効果があるそうです。省エネを我慢というイメージでなく、ファッションを含めた新しいライフスタイルとして、冷暖房に頼りすぎない日頃の生活・事業活動により地球温暖化防止に取り組ましましょう。

参加者342世帯



<個人部門>

- ★参加世帯数 : 342世帯
- ★前年比減少世帯: 188世帯
(うち目標達成世帯数: 169)
- ★平均削減率 : 6.70%
- ★優良取組世帯 : 5世帯

<事業所部門>

- ★参加団体名 : 15事業所
- ★前年比減少事業所: 7事業所
(うち目標達成6事業所)
- ★平均削減率 : 0.48%

参加者の主な取り組み

- 家族でなるべく一部屋で過ごすよう心掛けた。
- お風呂の水を打水として利用した。
- 待機電力を削減するため使用していない電気は元からコンセントを抜いた。
- エアコンの使用は温度設定を1~2℃上げ、扇風機を併用した。
- 休日は、子供を連れ図書館やプールなどへ出かけ過ごした。
- 電気ポットや炊飯器の保温を切った。
- 早寝早起きし、エアコンを控え、よしずやすだれを使い自然の風を取り入れた。

- クールビズを実践し、冷房温度を28℃にした。
- 昼休みの事務所内の照明やパソコン等の消灯を徹底した。
- 温水便座のOFF、空調温度をこまめに目標確認した。
- 15時以降の未使用端末等の電源OFF、18時以降のエアコン・自販機の電源を切ったり、トイレのフタを常時するようになった。
- エコスタイルキャンペーンのポスターを掲示した。

(参考) 世帯員別月間電気使用量平均(kwh/日)

1人	7.95	4人	13.92	7人	24.59
2人	10.42	5人	14.39	—	—
3人	12.41	6人	18.17	—	—

- 参加事業所
東京電設サービス(株)山梨支社、(株)オオキ、(株)古柏園、ガイドードリンコ(株)甲信支店、NTT山梨支店グループ、小林建設(株)、東電不動産(株)山梨支社、東京ガス(株)甲府支社、(株)フジカワ紙販、秋山土建(株)、(株)山梨中央銀行、三英電業(株)、住友信託銀行(株)甲府支店、生活協同組合コープやまなし、尾瀬林業(株)

環境日本一エコエネルギーコンテスト開催

県循環型社会推進課

山梨県は、全国有数の長さを誇る日照時間、県土の約8割を占める森林、豊富な水など、豊かな自然環境に恵まれています。そこで、本県の豊かな自然環境から生ずる太陽光、風力、バイオマスなどの化石燃料に頼らないエコエネルギーを活用し、環境教育・学習の推進、環境保全に向けた意識啓発を図るため、去る11月19日(日)に、アイメッセ山梨にて本コンテストを開催しました。



ソーラーカー競技(雨天のため室内で実施)

【ソーラーカー部門(太陽の光を克服せよ!)】

コース上に設置された「曇りのゾーン」や「夜のゾーン」などの太陽光の弱点である自然条件を想定した太陽の光を遮る障害物ゾーンをクリアし、ゴールを目指す競技です。

今年は、全長約15メートルのコースを30秒台でゴールするなど好成績で完走するチームが現れ、昨年から大幅にレベルアップした内容となりました。

ソーラーカー部門

優勝 : 山梨県立産業技術短期大学校
準優勝 : 栃木県立真岡工業高校
3位 : 愛知工業大学
アイデア賞 : 山梨県立富士北稜高校
デザイン賞 : 東京農工大学

【アイデア部門(エコエネルギーを活用せよ!)】

エネルギー量の少なさや供給の不安定さなど、その活用にもさまざまな問題があるエコエネルギーの活用方法について、書類審査を通過した県内外からの4チームがアイデアを提案しました。

太陽光やBDF(バイオディーゼルフューエル:植物性油もしくは動物性油から作られた軽油と同等の燃料)精製時の副産物などに関する有効な活用方法について、興味深い提案がなされました。

アイデア部門

金賞 : 生活協同組合コープやまなし
銀賞 : 山梨大学
銅賞 : (株)計画技術研究所
特別賞 : 兵庫県立三木北高校

【環境学習部門(学校での取り組みを発表しよう!)】

学校で実践されているエコエネルギーを活用した風力発電機の製作や小水力発電機の実験を通じた取り組みについて、県内外の7校が発表しました。

環境学習部門

エコエネルギー : 山梨県立甲府昭和高校
コンテスト賞 : 山梨県立谷村工業高校
東京都杉並区立和田中学校

【記念講演会、エコカーの展示等】

地球温暖化のメカニズムや21世紀に私たちに求められる行動について、お天気キャスター・気象予報士の森田正光氏に講演していただきました。

その他、燃料電池車や電気自動車などのエコカーの展示・試乗コーナーなどを設けました。



自転車発電機

今回2回目となるこのコンテストには、北は山形県から南は愛媛県まで遠方からも出場チームが集まり、全国規模の大会として認知されつつあります。今後、継続して開催していくことでさらに出場チームが増加することが期待されています。

豊かな自然に恵まれた山梨県が全国に向けて発信するオリジナルな環境イベントとして定着するよう、これからも工夫を重ね、楽しみながら参加・学習できるイベントにしていきたいと考えています。

県スーパー8社が「ショッピングバスケット」を導入

昨年12月27日から、県内の食品スーパー8社が、共通のマイバスケットを導入する取組みを始めました。

始めたのは、いちやまマート、セルバ、アマノパークス、おかじま食品館、日向、やまと、公正屋、Aコープこま野白根店の、県内を中心とする計約60店です。

これは、改正された容器包装リサイクル法が今年4月に施行されるのを契機に、レジ袋を使わないマイバスケットの利用を買い物客に呼びかけ、ごみ減量化につなげていこうというものです。

バスケットは8社共通で、ピンク色のプラスチック製、一般的なスーパーのかごより一回り大きい容量の33リットルです。側面に共通マークをプリントしてあり、1個300円（税込み）で店頭にて販売しています。

使い方は、下図のとおりですが、レジ係が商品を手渡してくれたマイバスケットをそのまま持ち帰ることができ、レジ袋に詰め替える手間が要らず、車でお買い物をされる方にはとても便利です。使用された方からは、「品物を詰めやすいし、つぶれたりせず使いやすい。」といった声が寄せられているそうです。

環境パートナーシップやまなしにおいても、昨年より県内スーパーにご協力いただき「マイバスケット運動」を推進してきましたが、このように数社ものスーパーが共同でレジ袋削減のためにバスケットを導入する取り組みは、全国でも例がありません。

ごみ減量化を目指した消費者と事業者のパートナーシップによるこの取組みを広めていくため、あなたもマイバスケットを使ってみてはいかがでしょうか。



バスケットの使い方



お店の買物カゴ

お店の買物カゴを上にして、バスケットを下にして重ねます。



そのままカートに乗せて買物をしてください。(バスケットは重ねて手で持つことができないので、カートをご利用ください。)



レジ係が、精算時に買物カゴからバスケットに商品を手渡し替えます。



レジ係で支払い済みのしるしをバスケットに貼ります。精算が終わったら、そのまま車などで持ち帰ります。

1ページのクイズの答え

初級コース：I ③、II ②、III ①、IV ③、V ②

一般コース：I ③(①は地球、②は日本)、II ②、III ①、IV ③、V ②

●投稿募集中

【会員紹介コーナー】

①スペースはA5判程度で、500～600字の原稿と写真1枚です。②団体等の名称、所在地(事務局または事務所等)、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

【行事予定】

○団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等です。